

# 国立中央青少年交流の家 職員の MY ACTION!

# MY ACTION!

国立中央青少年交流の家で働いている職員が現在取り組んでいる、または今後取り組んでいきたいSDGsを紹介します！みなさんも一緒にSDGsに取り組んで行きましょう！

SDGsにまずは興味をもってもらえるよう、事業に工夫を加えるとともに、情報発信に努めていきます。個人的には、車にエコバックを常備します。

4 質の高い教育をみんなに  
12 つくる責任をつかさどる

所長 宮崎康之

質の高い体験活動をみんなに！体験や経験を積み重ね、体験を通してみんなが自分の足で歩いて行けるように心に響く体験の機会を創造します。

4 質の高い教育をみんなに

次長 桑山宗大

今年に入って、一児の父になりました。この子が生きる将来が希望に満ち、また、この子と同じ時代を生きる人たちが、不遇のうちに取り残されず、手を取り合って生きられる社会となるよう、教育施設の職員として、また、一個人として、日々、出来ることに取り組んでいきたいと思えます。

1 貧困をなくそう  
4 質の高い教育をみんなに  
5 ジェンダー平等を実現しよう

総務・管理係 青木克之

体操競技の指導、審判、等を通じて生涯学習の普及に努めます。使用する財布、手帳、名刺入れ等を自作して省エネに努めます。

4 質の高い教育をみんなに  
7 清潔なエネルギーをすべての人に

総務・管理係 吉田哲郎

家電のこまめなON・OFF、エコバックの使用、近場への移動は徒歩、ごみの分別の徹底など、生活の中で必要以上に資源を消費しないようにできる範囲から努めていきます。

7 清潔なエネルギーをすべての人に  
11 住み続けられるまちづくりを  
12 つくる責任をつかさどる

総務・管理係 大石章司

相手に寄り添い責任ある発言と行動を取ります。

5 ジェンダー平等を実現しよう  
8 働きがいも経済成長も

企画指導専門職 大家浩靖

当所が何十年にもわたり、多くの利用者によって受け継がれてきた積み重ねを尊重し、古いものであっても丁寧に扱う気持ちや次の人の立場になって考える態度を、ベースに据えて取り組みます。

4 質の高い教育をみんなに  
12 つくる責任をつかさどる

事業推進係 安達拓人

買物の際、ビニール袋をもらいません。

7 清潔なエネルギーをすべての人に  
11 住み続けられるまちづくりを  
13 気候変動に具体的な対策を  
14 海の豊かさを守ろう  
15 陸の豊かさを守ろう

事業推進係 中込崇

機会がある時に、西アフリカでボランティア活動をしていた時の経験を話し、少しでも貧困等の問題に目を向けてもらえるよう努めます。また、マイバッグを使用するなど、できることからやっています。

1 貧困をなくそう  
2 飢餓をゼロに  
4 質の高い教育をみんなに  
5 ジェンダー平等を実現しよう  
12 つくる責任をつかさどる

事業推進係 荒川大祐

5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）を心がけ、3M（ムリ・ムダ・ムラ）をなくし、ストレスフリーな職場を目指します。

8 働きがいも経済成長も

総務・管理係 設楽恵美

人と人との繋がりを大切に、周囲の人も自分自身も、明るく元気な毎日を過ごせるように心がけます。

11 住み続けられるまちづくりを  
16 平和と公正をすべての人に

企画指導専門職 土屋貴弘

環境教育やESDについての自主的に学び、理解を深めます。学んだことを利用者の方々に伝えられるよう、環境教育やESDの視点から研修支援を充実させることに努めます。

4 質の高い教育をみんなに  
15 陸の豊かさを守ろう

事業推進係 丸丸樹

すぐに新しいものを買うのではなく、使えるものは工夫してリサイクルする心がけが大切です。大事な資源である水の節水、必要以上の異物(マイクO7ラッシュ等)の流出を防ぐよう子どもたちにも指導していきます。

6 清潔な水とトイレを世界中に  
12 つくる責任をつかさどる

事業推進係 滝田笑子

所内の環境整備を通じ、青少年を始めとする利用者の皆さんに、自然と緑の豊かさに触れて頂くよう努めます。

15 陸の豊かさを守ろう

事業推進係 奥田峰生

食器や洗濯、掃除などで使用する洗剤は環境と体に優しいものを使います。家庭で消費できる分だけ購入し食品ロスをなくすよう心がけます。食品は無添加、遺伝子組み換えではない安全で信頼できるものを購入します。

2 飢餓をゼロに  
3 健康と福祉を  
12 つくる責任をつかさどる  
14 海の豊かさを守ろう  
15 陸の豊かさを守ろう

総務・管理係 高垣博子

『安いから買う』ではなく、「本当に必要なものなのか」「長く使えそうか」などを考えて購入するとともに、エシカル消費を意識し、フェアトレード商品の選択も心がけます。

10 人や国の不平等をなくそう  
12 つくる責任をつかさどる

企画指導専門職 市川大

買い物には、エコバックを持っています。レジ袋の消費を減らしプラスチックごみを減らすよう心がけます。食品ロスをなくします。家庭で消費できる分だけ食品を購入します。

2 飢餓をゼロに  
12 つくる責任をつかさどる

事業推進係 向出裕子

少しでも無駄をなくすために、できることからやっています。具体的には、電気はこまめに消す、ものを買うときは本当に必要なものか・長く使えるものかを考え購入するなど実践していきます。

2 飢餓をゼロに  
12 つくる責任をつかさどる

事業推進係 勝間田共平

オリエンテーション、出前講座など利用者対応の際、エコな生活、「早寝早起き朝ごはん」を伝えていくことを実践します。また、自分自身がSDGsを意識した生活を心がけていきます。

3 健康と福祉を  
7 清潔なエネルギーをすべての人に  
17 平和と公正をすべての人に

企画指導専門職 長谷川賢

生活において無駄をなくし、使用できるものは使用し、責任のある行動をとる。

3 健康と福祉を  
11 住み続けられるまちづくりを  
12 つくる責任をつかさどる  
16 平和と公正をすべての人に

事業推進係 平山久

使い捨てよりも長く使えるものを選び、食料やエネルギーを無駄を無くすようにします。また、瓶・紙・プラスチック・衣服・本をリサイクルします。

2 飢餓をゼロに  
7 清潔なエネルギーをすべての人に  
11 住み続けられるまちづくりを  
12 つくる責任をつかさどる

事業推進係 見川美和

## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



持続可能な開発目標（SDGs）とは、2001年に策定されたミレニアム開発目標（MDGs）の後継として、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。